

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス感染症外国人患者受入支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111(内 3240)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,480 千円 (前年度予算額： 34,920 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	34,920	34,920	0	0	0	0	0	0	0
要求額	30,480	30,480	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・本県における在留外国人数は、56,697人(令和3年12月末時点、前年比△4.5%)であり、現在のコロナ禍において減少しているものの、外国人患者の医療機関への受診は増えており、在留外国人の新型コロナウイルス感染事例も多数発生していることから、医療機関において多様な言語に対応する必要性が一層高まっている。

・しかしながら、医療機関にとって全体的から見ると外国人患者は少数であり、多様な言語に対応することはコスト面からも困難なことから、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい。

・医療現場におけるコミュニケーションの不足は、診療時間を長引かせるのみならず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの原因にもなりかねない。医療従事者が診療等に専念できるよう、医療現場の外国人受入環境を改善し、環境の整備を支援する必要がある。

(2) 事業内容

【対象経費】

外国人患者の受入れにあたり必要な、外国人特有の課題に対応した入院治療・療養が可能な体制の整備、感染拡大防止対策や診療体制確保等に要する費用を補助する。

- ・外国人患者の動線上における施設内表示の多言語翻訳
- ・外国人患者の特性を考慮したベッド、医療機器等の整備 等

【補助対象者】

コロナ患者の入院を受け入れる医療機関かつ外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関

【補助基準額】 1医療機関あたり1,000万円

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10 (新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	30,480	外国人患者の受入れにあたり必要な、外国人特有の課題に対応した入院治療・療養が可能な体制の整備、感染拡大防止対策や診療体制確保等に要する費用に対する補助金
合計	30,480	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 医療通訳の雇用等、外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。

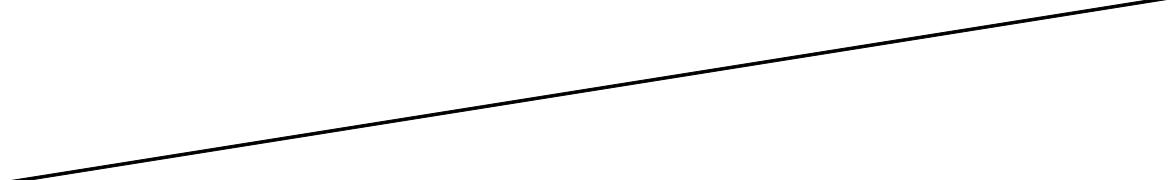
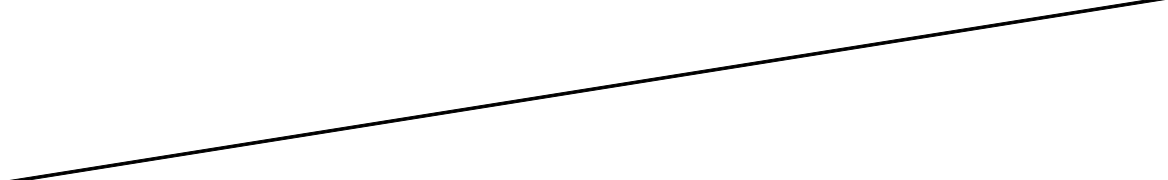
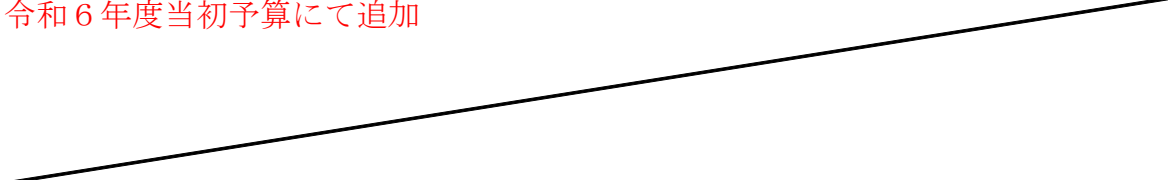
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の流行を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>  <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、支援が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	「コロナ患者の入院を受け入れる医療機関」かつ「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」に指定されている医療機関のみを対象に補助している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の流行を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、支援の必要性について検討する。
